

平成30年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	第6回 新潟県SSH生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA
期 日	平成30年7月25日(水)
会 場	アオーレ長岡
対 象	県内外のSSH・SGH各校, 高校, 中学校生徒
参加者	新潟南高校, 新発田高校, 長岡高校, 柏崎高校, 高田高校(県内SSH指定5校), 富山県立富山中部高校(SSH指定校), 国際情報高校(SGH指定校), 長岡大手高校, 新津高校, 三条高校, 新潟大学附属長岡中学校, 長岡市立東北中学校, 長岡市立山本中学校 以上, 13校から739名の生徒が参加
目 的	県内外のSSH指定校や高等学校, さらに, 近隣の中学校の生徒が一堂に会して, 課題研究の発表や質疑応答による「研究発表交流」, 及び参加生徒が協力して実技課題に取り組む「生徒交流会」を行い, SSH校の課題研究の改善につなげるとともに, 参加各校生徒の相互交流により, 協働的な課題解決力を育成する。また, 会の運営や進行を長岡高校の生徒が行うことにより, 本校生徒の主体性および協働性を育成する。
内 容	<p>■研究発表交流</p> <p>「口頭発表」・・・5校 新潟南高校, 新発田高校, 柏崎高校, 高田高校, 富山中部高校の各代表グループによるステージ発表を行う。</p> <p>「英語によるパネルディスカッション」・・・1校 長岡高校の代表グループが, ステージ上で英語による研究発表を行った後, その内容についてパネリスト(長岡高校代表生徒)とともに英語でディスカッションを行う。コーディネートは本校ALTが行う。</p> <p>「ポスターセッション」・・・9校68点 参加した各校の研究グループが, ポスターで課題研究の成果を発表する。今年度は, 長岡技術科学大学の留学生4名に依頼し, 英語によるポスター発表グループに対して指導助言を行った。ポスター発表校は新潟南高校, 新発田高校, 長岡高校, 柏崎高校, 高田高校, 富山中部高校および長岡大手高校, 新津高校, 国際情報高校。</p> <p>■生徒交流会</p> <p>参加生徒全員を他校生徒と混合した5~6人のグループに分け, 当日提示する実技課題に取り組みさせる。与えられた条件下で, 初めて出会うメンバーとの話し合い・意見交換・試行錯誤などの協働作業により, よりよい解を探るといった協働的な課題解決を経験させる。また, 課題解決力やコミュニケーション能力の伸長も図る。</p> <p>今年度のテーマは「ストロー投石機を作って, 玉を遠くに飛ばそう!」でした。ストローと輪ゴム, セロハンテープで投石機を作り, アルミ箔で作った玉を飛ばし, その飛んだ距離を競いました。</p>



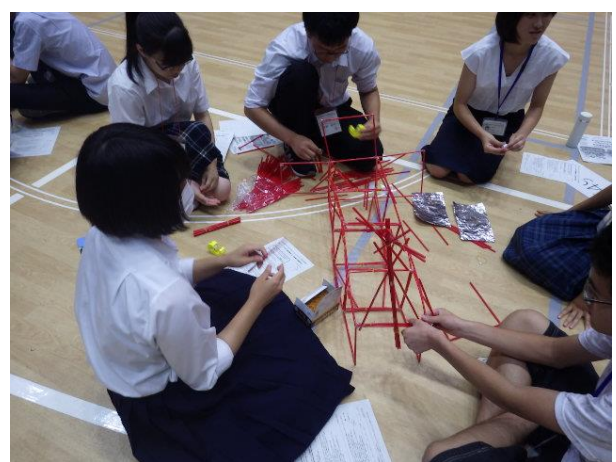
口頭発表



英語によるパネルディスカッション



ポスターセッション



生徒交流会

参加者の
主な
感想

<口頭発表>

- 一見自分たちには関係ないような研究でも、思わぬところで結びついたり、今社会で行われている研究につながっているものもあり面白かった。
- SSH指定校の私たちからしてみても、とても面白い内容の発表を聞くことができた。数学の知識を応用したりしていた理数科の発表はとてもためになった。

<英語によるパネルディスカッション>

- 英語で話す力は今後の社会において重要な能力であると思うので、良い取り組みだと思う。英語での発表はよい刺激になった。
- 英語で話し合いを進めるのはすごいと思った。高1までの英語の知識しかなくても、理解できることがあってうれしかった。

<ポスターセッション>

- ステージ発表でよくわからなかったことも、ポスターセッションでもう一度聞いたらよく理解できた。
- iPadを使って発表しているグループもあってそういった電子機器を自分も使いこなして活用していけるようにしたい。

<生徒交流会>

- 初めて会った他校の生徒と交流が深まった。ここまで話し合ったおかげで協力して良いものを作り出すことができうれしかった。
- 初めて会う生徒が集まって、1つの目標に向かって論点を絞っている姿は、見ているだけでも楽しいし、生徒自身も楽しそうでした。

